

## クラウドを利用した 生産管理システムの導入

### 人材不足の今、書類の管理に限界を感じる

株式会社コスモジャパンは、平成3年創業以来「北海道をもっとおいしく」をテーマに、唐揚げや焼き鳥、コロケ、ハンバーグ等の惣菜品の製造や、北海道の魅力ある素材を使った製品化開発を行っている。惣菜の製造には、多くの働き手が必要だ。同社は、高齢者や外国人の雇用によって人手は維持できているが、肝心の製造管理者が育たず、管理面での不安が続いていた。

また、食品製造においてHACCP(ハサップ)管理が義務化され、より高度な管理が求められている。製造管理人材不足の中で、現在の書類による管理には限界を感じていた。また、製造記録表をもとに生産性や歩留まりの計算を行うが、全ての生産が終了しなければ集計できないことや、そもそもの記入ミスや記入漏れの発生も大きな課題となっていた。そこで今回、製造業IoT導入ファーストステップ補助金を利用し、クラウドを利用した生産管理システムの導入をすることに決めた。

### システム導入によってリアルタイムで集計

同社で導入したのは生産管理システム「UM進捗工程」だ。生産機器から自動でデータ取得できる機能がついており、人手による入力と機器入力をミックスさせることで、精度の高いデータが取得できるようになる。それにより、投入原料や生産量、時間、生産者、加熱温度などが収集でき、リアルタイムで時間当たりの生産性や商品別の歩留まりの把握ができるようになる。さらにクラウド管理のため、場所問わずデータへのアクセスが可能になり、一部の管理業務はテレワークでもできるようになる。データ記入漏れやミスの減少はもちろん、労働力不足の解消、残業の削減、商品ロスの低減、アフターコロナの働き方改革が可能になるだろう。現在、システム導入は行われたが、運用未実施。というのも高齢者や外国人の従業員が使いやすいよう、システムをブラッシュアップしているためだ。実際に使用するようになったら、先進的なシステム運用が可能になると考えている。



補助金を利用して導入した機器

品目別に計画数量等が確認できるシステム画面



従業員がタブレット端末で操作しているところ



代表取締役  
小林 惣

### 新しい働き方の実現&業務の 効率化を目指す

製造管理人材不足によって、書類等での管理に限界を感じていました。今回、補助金制度を利用し生産管理システムの導入ができたことで、リアルタイム集計・データ入力ミスの減少・一部の管理業務がテレワークでも可能に。また、アフターコロナの働き方改革に一步先に手を打つことができたと思っています。

## 株式会社 コスモジャパン

### 「おいしい」その先の笑顔のために

道内量販店やホテル、専門店を中心に細かなニーズに対応するため、少量多品種にこだわった畜肉系加工品の製造を行っている。

設立 平成3年3月

従業員数 70名

代表者 小林 惣



小樽市銭函5丁目53-4

TEL 0133-72-8131

FAX 0133-75-9211

URL: <http://www.pioneer-j.co.jp/group/cosmojapan/>